

関数 vlookup について

関数 vlookup は、データベースの中から、指定した条件のデータを探し出す関数です。vlookup は、Vertical (バーチカル：縦型) の表から Lookup (探し出す) から名前がついています。

vlookup はどう使う？

データを探し出すといっても、イメージがわきにくいので実際に使った例で見てみましょう。

サンプルデータ：都道府県の県庁所在地と人口・面積

	A	B	C	D	E
1		都道府県庁所在地	人口(人)	面積(平方km)	人口密度
2	北海道	札幌市	8,842,740	78,420.24	70.68
3	青森県	青森市	1,394,881	9,607.05	145.19
4	岩手県	盛岡市	1,352,387	15,278.85	88.51
5	宮城県	仙台市	2,343,787	7,289.74	321.69
6	秋田県	秋田市	1,109,085	11,612.22	95.51
7	山形県	山形市	1,108,132	9,323.45	127.54
8	福島県	福島市	2,055,495	13,782.75	149.14

上図のように、都道府県名・県庁所在地・人口・面積・人口密度が入力されている表があるとします。

これに対して、セルに県名を入力すると、県のデータが表示されるワークシートを作成したい場合があります。

できあがったイメージは、下の図のようになります。

	A	B	C	D	E
1	県名	県庁所在地	人口	面積	人口密度
2	青森県	青森市	1,394,881	9,607.05	145.19
3					
4		都道府県庁所在地	人口(人)	面積(平方km)	人口密度
5	北海道				0.68
6	青森県				5.19
7	岩手県	盛岡市	1,352,387	15,278.85	88.51

このセルに県名を入力すると

こちらのセルに県のデータが表示される

A2 のセルに県名を入力すると、B2～E2 のセルにそれぞれの県のデータが表示されるといったワークシートです。

都道府県のようにデータの数が 48 しかない場合は、表をみただけで探し出すことができますが、データの数が 1,000、10,000 となった場合は目で探し出すことは難しくなります。こうした場合に使用されるのが vlookup 関数などのデータベース関数です。

このワークシートでは、それぞれのセルに以下のように入力されています。

A2	データを入力するセルです。
A5:E51	都道府県のデータが入っています。
B2 のセル	=VLOOKUP(\$A\$2,\$A\$5:\$E\$51,3,FALSE)
B3 のセル	=VLOOKUP(\$A\$2,\$A\$5:\$E\$51,4,FALSE)
B4 のセル	=VLOOKUP(\$A\$2,\$A\$5:\$E\$51,5,FALSE)

B2～E2 のセルは vlookup 関数を使用して、表の中から条件 (県名) に対応したデータ (県庁所在地・人口…) を表示してい

ます。